

# スポーツ かわさき

No. 20



川崎市体育協会

# 役員人事を大巾に移動 昭和63年度 川崎市体育協会 総会終わる

谷口、保坂両副会長、  
日野原理事長を選出  
常任理事を増員、6名制に  
40周年に向けて予算増額  
事業も活発化

市体育協会総会は去る6月3日、市立産業文化会館で開催され、会長である伊藤三郎市長をはじめとして、役員総数52名の出席によって盛会裡に終了した。

この日、総会に先立って15時30分より理事会が行われ各種議案を慎重審議。次いで別室では前年度川崎市優秀選手の表彰式。別掲の選手・チーム等に対し会長より賞状・記念品が授与された。

総会である理事・評議員会は17時30分より開催。

1. 昭和62年度事業報告
2. 同決算報告
3. 同上監査報告
4. 昭和63年度事業計画
5. 同予算案

6. 昭和63・64年度役員改選についてその他が審議されたが、いずれも理事会原案通りに可決、市体育協会は設立40周年に向けて新たな活動を開始した。

その後、新旧役員歓送迎会を兼ねた懇親会に入り、伊藤会長を囲んでなごやかな歓談のうちに20時にすべての日程を終了した。

本年度体協の事業計画および役員構成等は次の通りである。



## 1. 基本方針

川崎市内のアマチュアスポーツ団体を統括し、加盟団体相互の緊密な連携をはかり、市民の体育・スポーツ活動の振興と、市民が日常生活の中で積極的、継続的にスポーツ活動が実践できるよう寄与する。

## 2. 主要施策

### (1) 各種市民体育大会の開催について(市委託事業)

#### ① 春季市民体育大会(12種目)

軟式庭球、サッカー、野球、体操(4種目)

#### ② 市制記念体育大会

陸上競技、剣道、テニス、弓道、軟式庭球、柔道、野球、バレーボール、相撲、卓球、バスケットボール、バドミントン

#### ③ 秋季市民体育大会(16種目)

体操、野球、相撲、弓道、ハンドボール、柔道、バレーボール、テニス、卓球、剣道、バドミントン、バスケットボール、空手道、サッカー、ラグビー、陸上競技

#### ④ 市長杯大会、その他(11種目)

卓球、水泳、スケート、スキー、市民登山、少林寺拳法、こども相撲、ソフトボール、なぎなた、合気道、クレー射撃

### (2) 各種スポーツ活動の普及・充実・強化について(体協主催事業)

#### ① スポーツ教室

市民親子スキー教室、市民ハイキング、市民登山教室、合気道教室、婦人テニス大会、婦人水泳教室、その他

#### ② 講習会

日本赤十字社救急法講習会、その他

### (3) 各種専門委員会活動の活発化

#### ① 財務委員会 賛助会員増強募集計画等

#### ② 事業委員会 スポーツ教室・講習会の充実

#### ③ 競技委員会 県総体ほか大会の普及・振興

#### ④ 広報委員会 「スポーツ川崎」誌の充実

### (4) スポーツ少年団の育成・強化

次代を担う青少年に対し、スポーツを通しての健全育成を図るためのその施策の強化。

### (5) 選手・役員の派遣事業の充実

県総体・国体・他都市交歓大会等へ選手・役員を派遣し、競技力の向上をはかる。

### (6) 指導者相互の連携強化

種目団体各指導者相互の緊密な連携体制を持つことにより、一層の資質の向上をはかる。

### (7) 創立40周年記念事業の開催

本市体協が昭和23年11月1日発足以来、40年を経過したので、記念事業実行委員会を組織し、記念事業を開催する。

## 昭和63、64年度 市体育協役員名簿

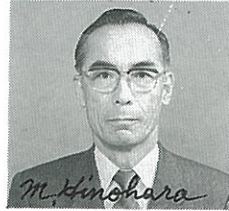
|       |   |
|-------|---|
| 会 長   | 伊藤三郎  |
| 副 会 長 | 中野一雄・谷口恭男・保坂 博  |
| 参 与   | 本田正男・片山吉隆・加藤新一郎<br>小林完一・神山 力・湯田坂昌平<br>大山政次  |
| 理 事 長 | 日野原 守   |
| 副理事長  | 作間牧夫  |
| 常任理事  | 左沢重明・古谷 保・長谷川武雄<br>川島哲男・桜井定吉・長島磐次郎  |
| 会 計   | 古川幸一  |
| 監 事   | 荒川美夫・狩屋一夫   |
| 理 事   | 芳賀学人・梅沢喜由・岡崎彦雄<br>中山 剛・高瀬健二・引田満男<br>矢野宣義・上野富夫・小口常雄<br>古川幸一・浅野浩志・山田元彦<br>吉岡幹雄・多田勝彦・山本十三二<br>野口晏正・河田英彦・市川純子<br>木村邦雄・坂田 昇・大村浩章<br>伊藤梅吉・小林悠二・伊藤金蔵<br>松尾武司・大谷金一・山田文雄 |
| 事 務 局 | 吉田敏郎・小林宏子・  |

## 昭和63、64年度専門委員会

| 委員会名          | 委 員 名  | ◎委員長                         | ○副委員長                       |
|---------------|--|------------------------------|-----------------------------|
| 財務委員会<br>(8名) | ◎古谷 保 (卓 球)<br>松尾武司 (学 経)<br>上野富夫 (剣 道)<br>河田英彦 (ハンドボール) | ○大谷金一 (学 経)<br>中畑一男 (スケート)   | 引田満男 (軟式庭球)<br>山本十三二 (体 操)  |
| 広報委員会<br>(8名) | ◎左沢重明 (山 岳)<br>袴川敏明 (陸上競技)<br>小坂末吉 (バスケット)<br>菊地政宣 (卓 球) | ○今村 真 (ラグビー)<br>谷口 浩 (サッカー)  | 小嶋 創 (水 泳)<br>中山 剛 (バドミントン) |
| 競技委員会<br>(8名) | ◎川島哲男 (野 球)<br>木村三郎 (相 撲)<br>芳賀学人 (陸上競技)<br>吉岡幹雄 (サッカー)  | ○小口常雄 (弓 道)<br>鈴木孝雄 (軟式庭球)   | 高瀬健二 (テニス)<br>伊藤金蔵 (中体連)    |
| 事業委員会<br>(8名) | ◎長谷川武男 (水 泳)<br>岡崎彦雄 (バスケット)<br>山本信義 (スキー)<br>大筋俊介 (山 岳) | ○桜井定吉 (相 撲)<br>梅沢喜由 (バレーボール) | 菱沼一夫 (テニス)<br>木村邦雄 (ソフトボール) |

## 川崎市体育協会理事長就任挨拶 スポーツ活動で 健康と明るい社会を!

日野原 守



この度、権威と伝統のある川崎市体育協会の理事長を拝命し、その重責に強い認識を感じているところであります。

スポーツ活動についての情熱は人一倍旺盛のつもりながら、この大役はまだ重荷であるご辞退したのですが、お引受けせざるを得なくなりました。新時代の川崎にふさわしく、又、法人化を目指す新生体協となり得るよう微力ではありますが、皆様方のご理解あるご協力に支えられて頑張っております。どうぞ宜敷くお願い致します。

さて、川崎市内各種スポーツ競技団体の活躍により、対外的地位も高められ、強靱なる心身の競技人も増えている中で、一方では市民のスポーツへの関心が、健康と体力づくりの重要性の認識と共に非常に高まってまいりました。市民各層にスポーツ活動参加の機会を広げるよう、体協としても各種スポーツ教室の開設やスポーツ指導者の育成と充実を推進しています。体育協会はこれからも尚一層健康増進、明るい社会作りに貢献するものと確信しております。

## ボーリング協会新加盟

本年度理事・評議員会の結果、川崎ボウリング協会が本体協の29番目の団体として承認された。当協会は昭和39年1月に県体協加盟団体として発足し、以来各種事業をかさねてきたが、昨年度は沖縄国体に公開競技として選手を送り出した。ボウリングが本年度より国体正式種目となった今、当協会の活躍を期待したい。

会長 田中和徳 理事長 伊藤梅吉  
加盟団体 18団体 240名

**昭和62年度  
優秀選挙賞8名、  
2団体に授与**

体協では毎年度毎に、各種全国大会で活躍し優秀な成績をおさめた本市在住在勤者に対し優秀選手賞を与え表彰しています。本年度は次の方々を選ばれ、6月3日、伊藤三郎会長より賞状並びに獅子像が授与され表彰されました。

**1. 個人の部**

- 中谷 等 (20) 水泳 日本鋼管KK  
日本実業団水泳大会 100m 背泳 優勝  
" 200m バタフライ 優勝
- 九里智之 (18) 水泳 日本鋼管KK  
日本実業団水泳大会 100m 平泳 優勝
- 草苺信夫 (23) 水泳 富士通KK  
日本実業団水泳大会 100m バタフライ 優勝
- 中村恵美 (19) 水泳 富士通KK  
日本実業団水泳大会 50m 自由形 優勝  
" 100m 自由形 優勝
- 加藤順子 (19) 水泳 富士通KK  
日本実業団水泳大会 100m 背泳 優勝
- 今村 勉 (50) 水泳 日本電気KK  
日本実業団水泳大会  
(年令別50才以上) 50m 背泳 優勝
- 石橋伸彦 (12) 水泳 平間中学  
全国ジュニアオリンピック水泳大会  
100m 自由形 優勝
- 山仲豪紀 (17) 水泳 法政二高  
高校選手権水泳大会 100m 自由形 優勝  
日本選手権水泳大会 100m 自由形 優勝  
国体水泳競技少年A 100m 自由形 優勝

**2. 団体の部**

- 日本鋼管男子水泳部  
日本実業団水泳大会 総合優勝
- 東芝女子バスケットボール部  
全日本総合選手権大会 準優勝



(写真は会長・副会長を囲んでの受賞者一同)

**どちらが強いのか  
川口 vs 川崎  
都市交歓スポーツ大会終わる**

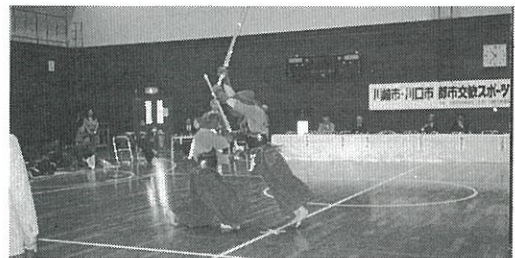
川崎市と川口市の間では毎年、いろいろな種目によるスポーツ交歓試合が行われていますが、ことし初めて川口市から代表選手17名を川崎市に招き、去る5月29日幸スポーツセンターで開催しました。

各選手とも、日頃鍛えた技を十二分に発揮し、熱戦を繰り広げましたが、チームワークに勝る川口市選手の前に善戦及ばず、初めて完敗という結果を招いてしまいました。

試合後の講評にもありましたが、川口市の選手の試合にのぞむ気力の充実はすばらしく、本市の選手を圧倒していました。また、同じ技でも、二・三段の連続技を無理なく駆使していました。厳しく云えば、稽古量の相違を感じました。

交流会の席でのお話しでは、やはり、代表選手が同じ稽古場で一語に汗を流しているとのことで、まともりというか、前述のチームワークの勝利といえましょう。

試合→合同稽古→懇談会と日程を消化し、選手の方々と来年の好試合を約束し別れました。



剣道以外の対川口市都市交歓スポーツ大会の日程は次の通りでした。

- 6月 5日 クレー射撃 東松山百穴射撃場
- 6月12日 陸上競技 青木町公園陸上競技場
- " 野 球 青木町公園野球場
- " テニス 青木町公園庭球場
- " 弓 道 青木町公園弓道場
- " バレーボール 芝スポーツセンター
- " バスケットボール 芝スポーツセンター
- " ソフトボール 芝スポーツセンター
- 6月26日 バドミントン 東スポーツセンター



本体協主催としては初めての

## 婦人水泳教室

が、去る63年1月21日より28日までの間の5日間にわたり市堤根余熱利用市民施設温水プールで開かれました。

募集定員30名で公募したところ、受付開始と同時に申込みが50名を超える盛況。

施設や講師(水泳協会公認指導員)の関係もあって、やむなく50名で打ち切り。ご辞退いただいた数名の方には誠に申しわけない思いでした。

### 受講者の声

多摩区在住 門脇恒子さん

日頃の運動不足解消を願って婦人水泳教室に参加しました。少人数クラスで、講師の指導も丁寧。水泳の基本というものをしっかりと体験しましたが、自分の身体が思うように動きませんし、自分の体力がないのには自身でガッカリしました。初日と最終日には記念撮影などもあり、

緊張もしましたが良い記念となる5日間でした。水にも慣れ、多少なりとも泳げるようになって大変楽しく、これからは練習を続けて行こうと思っています。主催者の皆様には期間中お世話になりましたことにご難うございました。

川崎区在住 柏崎育世さん

私はいままで泳ぎが不得意で、プールに行っても自己流のやり方で泳いでいました。しかし今日この教室に参加し、クロールで25mをどうにか泳ぎ切ることが出来るようになりました。5日間という短い期間でしたが、子供が小さいため、全部参加出来るかどうか心配でしたが、主人の協力もあり、全日程出席できて感謝しております。

わが家の愛娘はまだ2才なので、泳ぎを教えるという段階ではありませんが、そのうちに、私が自信を持って教えられるよう頑張りたいと思っています。そのためにもこれからもいろいろな泳ぎ方をマスターしたいので、今後もこのような教室があれば、是非参加したいと思っています。



## 郡市対抗駅伝 新生川崎 準優勝のスタート

県伝統の第42回郡市対抗駅伝競走大会が2月14日(日)小田原市・西湘地区体育センター～相模湖漕艇場の9区間71.1 Kmのコースで行われ、川崎は横浜に次ぎ準優勝でゴールした。

昨年の大会は連続優勝を狙ったが、選手の好不調の波が激しく屈辱の4位という結果に終わった。今回はこれを教訓とし、メンバー決定も選考会方式にするなど、従来とは異なる方法を取り入れ、また競技力向上委員会の発足により強化体制も整い、新生川崎チームとして大会に臨んだ。

今年のメンバーは、昨年までエースとして活躍した大八木(現ヤクルト)、森田(現日産自動車)が抜け一周り小さくなり、苦しいレース展開となることは必至ではあったが、「昨年の4位から1つ順位を上げよう」という目標に向かい、選手・監督・コーチが全員一丸となって取組み、その結果が目標を1つ上回る準優勝となったものと思われる。

レースは、まず1区初出場の星(東急)がトップと11秒差の4位で好スタートを切った。2区も初出場の菅山(東芝堀川)であったが、区間2位という好走で通算3位の好位置でタスキを主将の前谷(東急)へ。前谷は別大マラソンの疲れを持前の闘志で頑張り抜き、そのまま3位で継いだ。

4区深谷(生田東高教員)は昨年ブレーキの汚名返上とばかり先行する平塚を抜き、区間1位の激走で5区的女子選手区間へ。都道府県女子駅伝等でも活躍した守屋(日電玉川)は安定したピッチで走り、その差を抜け、6区初出場の小金沢(法政大)は先行する横浜との差を縮める区間1位の好走で7区田中(東芝堀川)へ。田中はレース続きでやゝ疲れはあるものの本番に強いところを発揮し2位をキープして、最長区間へタスキを渡した。8区大谷(東急)は大会出場8回目というベテランであるが、やゝ疲れがみえたところを平塚に抜かれた。しかしながら歯を食いしばって15秒差という逆転可能な位置でアンカーへ継いだ。

9区末次(東急)は、先輩ランナーの頑張りに応え、3Km地点で平塚に追いつくと一気にその差を抜け、区間1位とわずか3秒差という快走でゴ

ールにとび込んだ。

今回の大会を通じて感じたことは、駅伝はチームプレーであり、選手一人一人が与えられた区間で自分の力を出し切ることがいかに大切かということである。その意味でも、今回の準優勝は新生川崎のスタートとして大変意義深いものと思う。

大会終了後の反省会の席で、今回補欠に回った選手から「来年は選考会を大事にし、皆に勝って絶対に走るぞ」という声があがり、チーム内に競争心が芽生えた手応えを感じ、これを大切にしていきたいと思った。

市陸協としても、今回の貴重な体験を積み重ね、2年後には必ずや優勝を目標にできるチームをつくるよう、また県を代表できる選手が一人でも多く育つよう更なる前進を図っていきたいと思う。

### 氏家監督(生田東高教員)談

「3位入賞が目標だったが、準優勝とは選手がよく走ってくれたと思う。昨年までは、大八木・森田らに依存するチームだったが、彼らが抜け、各選手が自分がやらなければ、と自覚が出てきたことが大きかったのではないかな。また、新たに選考会方式によって選手を決定したが、選手間に競争心も出てきたし、目標も明確になってきたようだ。これからもハングリー精神を忘れずに、チーム強化を図り、優勝を目指していきたい。」

(文責 市陸協 皆川敏明)



(3区前谷から4区深谷へ)

# さあ大へん！でも大丈夫！

知っておきたい

## スポーツ事故の 応急手当て法



連載(第9回)

### —鼻と耳—

日赤神奈川県支部委嘱講師 左澤重明  
川崎体育救護クラブ副会長

(イラスト 日本赤十字社救急法ハンドブックより)

### ● 鼻出血について

鼻出血 — いわゆる鼻血は、スポーツ中とは限らず日常生活でもしばしば経験するところである。原因としては衝突、打撲、鼻ほじり、鼻内異物等の外傷性のものから、のぼせ、高血圧等の循環器疾患やその他の、症候性鼻出血といわれる非外傷性のものまで様々であるが、ここでは外傷性鼻出血の軽度のもののみとする。

#### ▶ 寝かせず、腰掛けさせる

鼻血が出た人を取り扱うのに、枕をせず横に寝かせる人が多いが、これは間違った方法である。これでは心臓部位と出血部位が同じ高さとなるので、止血しにくくなり適当でない。首を後屈させ強く仰向けにする者もいるが、これも良くない。仰向けにすると血液が後鼻から咽頭に流れ、飲みこんでしまうおそれがあるからである。鼻血は飲みこむと気分が悪くなり、嘔吐反射が起こって血痰(けったん)状の凝血が気道を塞ぎ、小さな子供では窒息すら起こしかねない。もし喉の方に廻ってしまうようなら、うながして吐き出させるようにするが、そのようなことが起こらないよう鼻血が出たら①椅子などに深く腰を掛けさせる。②鼻をしっかりとつまみ、顎を引き、口で息をするようにさせる。出血のある鼻孔にガーゼを詰めるのは良いが、奥深く入れる必要はない。鼻出血の大部

分は鼻孔入口から1～1.5cmのところ「キーセルバツハの部位」と呼ばれる個所からであるので、鼻翼の少し上を示指(人さし指)の腹で、鼻中隔(両鼻翼を境させている軟骨部分)に向かって強く圧迫する。なお、脱脂綿は繊維が鼻の中に残り、傷口がふさがらず再出血のおそれがあり、チリ紙は化膿の原因になるので使用しないようにする。

#### ③鼻から額にかけて濡れた冷たいタオルで冷やす。

以上の処置をすれば大抵の鼻血は5～6分以内に止まるはずであるが、それでもなお止まらない時は、内科的な疾患や原因が考えられるため、すぐに医師の診療を受ける必要がある。また頻繁に鼻出血を起こす人は、専門医の精密検査を受けたほうがよい。

#### ▶ うなじを叩いてはいけない

小児の鼻出血を止めようとする際、うなじを叩く人をよく見かけるが、これは全く無意味であるばかりでなく、非常に危険なことである。うなじには延髄という脳の下部組織があり、脳への血管・神経が集中しているから、決して叩いてはならない。また、このことは別に、小児は真っ赤な血を見ると動揺し、恐怖にかられやすいので、周囲の者がうろたえたり、騒いだりすると、一段と不安が増し出血も多くなる。ガーゼが真っ赤になったりすると、頻繁に取り替える人がいるが、そうこまめに取り替える必要はない。血液は空気に触れると固まってくるからである。もし、取り替えるのならば、その時は、小児に眼



片方をおさえて



冷やす

をつむらせ、血の付着したガーゼは見せないよう配慮したほうがよい。鼻の周囲の血痕や、手や衣類についた血も手早く拭きとるようにしたい。

### ▶ 頭を打つての鼻出血は危険

転倒や衝突等で頭を打った時に、鼻や耳から血液や半透明の液体が、糸を引いたように出て来た場合は、非常に危険な状態であるので、安静にして直ちに医療機関に移送する必要がある。この場合は枕をせずに水平体位に寝かせる。万一、意識に障害があれば「第6回」で述べたように気道確保を行い、特に頭部が動揺しないように留意をしなければならない。耳や鼻にガーゼ等を詰めて止めようとしてはいけない。出血のある耳の方を下にして横を向かせ、呼吸に注意しながら運搬するが、このことについては、いずれ稿を改めて記述することにした。

## ● 鼻の中の異物

虫類や煙塵などが鼻孔内に飛び込むことがある。そのような場合、片方の鼻を押えて強くかむと異物が出ることが多いが、繰り返して強くかむと耳の鼓膜を痛めるので注意したい。虫類などピンセットで取ろうとすると、かえって中に押し込んだり鼻の中を傷つけたりするため、鼻をかんでも取れないような時は、医師の診療を受けるようにしよう。

## ● 耳の中の異物



虫が耳に入った場合、タバコの煙を静かに吹き込んでもらうのは良い方法である。また、オリーブ油を一滴耳の中にたらし虫を殺して耳を下にしていると出てくることがある。あるいは懐中電灯などで明りを近づけると外に誘い出されてくることもある。

耳に水が入った場合、耳を下にして片足で跳ぶと大抵は出て来るが、綿棒やヨリで吸い取る方法もある。あるいは耳を下に向け、温かい石をあてて取る方法もある。

## ● 耳痛について

耳痛の訴えは、たとえば風邪で発熱のあととか、ハンカのあと、流行性耳下腺炎など炎症性の疾病から来るものと、外傷性のものに分けられるが、外傷性のもは非常に痛みで、飛び上がるほどのものが多い。原因として挙げられるものは、ボールが耳に当たった・剣道で横面を取られた・耳かきでうっかり突いた・平手打ちをくわされた等々の外、前述した虫の飛び込みであっても、これが外耳道に迷入したりすると激痛が来ることがある。また、水泳の翌日など、耳の奥から頭にかけてズキズキと激しい痛みに見舞われることがある。これは水によ



って外耳道がふやけ、ちょっとした刺激で傷ができそこから病原菌が入って炎症を起こしたものである。水泳で最も多くみられる耳の痛みである

というが、この外耳炎を中耳炎と誤まって云う人が多い。平手打ちや剣道の横面等で鼓膜が破れることがあるが、水泳では飛び込みや潜水による水圧で鼓膜が破れる場合もある。

鼓膜が破裂すると激痛が起こるが、まもなく痛みは薄らいでくるといわれる。

### ▶ 耳の痛みは薄らいでも要注意

しかし、痛みが薄らいで来たからといっても安心は禁物である。医師にかからず放置しておけば、本格的な難聴になってしまうこともある。発熱や頭痛から重大な事態にもなりかねない。耳は脳と紙一重であるので、耳の痛みがあった場合にはいかなる原因であろうとも、ビニールやラップ類で包んだ冷たいタオルまたは水で耳を冷やし、早いうちに医師の診察を仰ぐべきである。





## 第2回市民マラソン

多摩沿線道路には応援の列

# 1701人が健脚競う!

63年3月6日(日)「第2回川崎市民マラソン大会」が多摩沿線道路を舞台に行われました。

午前10時、等々力陸上競技場を20キロ部門の512人がスタート。次いで10分後に10キロ部門の1,189人がスタートし、晴天、無風の好コンディションのもと、健脚を競いました。

20キロに出場した市内高校教諭の保坂強さん(50才)は「思うように練習できなかったのですが、目標タイムを5分ほど短縮できました。来年もぜひ出場したい」と話していました。

各部門5位までの記録は次の通りです。

(◎印は大会新記録)

### 【20キロ】

|         |    |        |          |
|---------|----|--------|----------|
| 35才以下男子 | 優勝 | 吉川 勉   | 1°06'47" |
|         | 2位 | 桶瓜 孝治  | 1°08'02" |
|         | 3位 | 野田 晴彦  | 1°09'03" |
|         | 4位 | 柴田 孝   | 1°09'14" |
|         | 5位 | 斉藤 雅弘  | 1°10'17" |
| 35才以下女子 | 優勝 | 瀬戸口幸子◎ | 1°24'20" |
|         | 2位 | 丸山 博子  | 1°32'50" |
|         | 3位 | 野田 郁子  | 1°44'30" |

|           |       |          |          |
|-----------|-------|----------|----------|
| 4位        | 山岸 順子 | 1°49'10" |          |
| 5位        | 渡辺 聡子 | 1°55'48" |          |
| 36才~49才女子 | 優勝    | 矢口 義憲    | 1°08'12" |
|           | 2位    | 吉田 幹夫    | 1°08'16" |
|           | 3位    | 白髭 武志    | 1°10'05" |
|           | 4位    | 鍵和田 実    | 1°11'53" |
|           | 5位    | 高橋 欣三    | 1°13'16" |
| 36才~49才女子 | 優勝    | 高橋 純子    | 1°32'22" |
|           | 2位    | 渡辺 ノブ    | 1°35'29" |
|           | 3位    | 川辺 佳子    | 1°38'37" |
|           | 4位    | 鶴田美智子    | 1°38'39" |
|           | 5位    | 福間 常代    | 1°39'02" |
| 50才以上男子   | 優勝    | 鈴木 睦未◎   | 1°12'36" |
|           | 2位    | 松村 忠三    | 1°12'51" |
|           | 3位    | 木村 富昭    | 1°14'19" |
|           | 4位    | 坂本 清     | 1°14'32" |
|           | 5位    | 林 平二郎    | 1°15'13" |
| 50才以上女子   | 優勝    | 小林 裕子◎   | 1°41'05" |
|           | 2位    | 大川 裕子    | 1°43'08" |
|           | 3位    | 笠原久美恵    | 1°56'55" |

【10キロ】

|           |    |         |           |
|-----------|----|---------|-----------|
| 35才以下男子   | 優勝 | 田中 浩二   | 31' 32"   |
|           | 2位 | 堀 政美    | 32' 00"   |
|           | 3位 | 星野 政信   | 32' 23"   |
|           | 4位 | 高橋 秀行   | 32' 40"   |
|           | 5位 | 青木 直    | 32' 59"   |
| 35才以下女子   | 優勝 | 竹之内 明子  | 40' 49"   |
|           | 2位 | 星野真理子   | 41' 56"   |
|           | 3位 | 三浦 勝枝   | 42' 39"   |
|           | 4位 | 佐藤 公子   | 42' 59"   |
|           | 5位 | 青柳 淑子   | 43' 52"   |
| 36才～49才男子 | 優勝 | 南雲 重夫 ◎ | 32' 42"   |
|           | 2位 | 石井 秀夫   | 33' 01"   |
|           | 3位 | 小出 信博   | 33' 10"   |
|           | 4位 | 小林 義男   | 33' 42"   |
|           | 5位 | 鈴木 光    | 33' 46"   |
| 36才～49才女子 | 優勝 | 山口 道子   | 43' 49"   |
|           | 2位 | 石川美恵子   | 45' 07"   |
|           | 3位 | 行場 さえ子  | 45' 09"   |
|           | 4位 | 水島 トヨコ  | 46' 09"   |
|           | 5位 | 町田 孝子   | 46' 37"   |
| 50才以上男子   | 優勝 | 水上 稔    | 35' 00"   |
|           | 2位 | 細谷 進    | 35' 44"   |
|           | 3位 | 田原 兼晴   | 36' 01"   |
|           | 4位 | 大沢 経一   | 36' 33"   |
|           | 5位 | 茂木 幸夫   | 36' 37"   |
| 50才以上女子   | 優勝 | 宮沢 敦子   | 48' 49"   |
|           | 2位 | 小野美津子   | 51' 19"   |
|           | 3位 | 細谷 峯子   | 51' 37"   |
|           | 4位 | 和田 末子   | 52' 22"   |
|           | 5位 | 松原 兼子   | 54' 01"   |
| 高校生男子     | 優勝 | 井上 愛明   | 32' 58"   |
|           | 2位 | 堤 文広    | 33' 26"   |
|           | 3位 | 鈴木 大久   | 33' 35"   |
|           | 4位 | 菅原 顕人   | 33' 49"   |
|           | 5位 | 石井 徹治   | 34' 57"   |
| 高校生女子     | 優勝 | 中野 恵子   | 48' 29"   |
|           | 2位 | 阿部由紀子   | 50' 21"   |
|           | 3位 | 井上 珠江   | 57' 55"   |
|           | 4位 | 大久保きよみ  | 59' 41"   |
|           | 5位 | 工藤 麻紀   | 1°00' 31" |



※ 第3回の市民マラソン大会の予定は  
63年11月20日(日)です。  
今回の記録を目標に頑張りましょう。

# 昭和63年度加盟団体主要事業予定

## (陸上競技協会)

- 6月 5日(日)  
市陸上競技選手権大会 (等々力競技場)
- 7月 3日(日) ( " )  
市制記念陸上競技大会 ( " )
- 10月16日(日)  
秋季市民陸上競技大会 ( " )

## (野球協会)

- 9月19日(月)~29日(休)  
市長杯選抜市民軟式野球大会(大師球場)

## (バレーボール協会)

- 7月10日(日)  
市制記念大会一般男女9人制(市川崎高体他)
- 10月10日(祝)  
秋季市民6人制大会一般男女 ( " )
- 10月16日(日)  
秋季市民6人制大会高校男女 ( " )
- 11月 6日(日)  
秋季市民9人制大会一般男女 ( " )

## (バスケットボール協会)

- 6月25日~7月24日  
市制記念大会 (市体育館他)
- 11月20日~12月18日  
秋季市民大会 ( " )
- 2月25日~3月21日  
男女一般選手権大会 ( " )

## (バドミントン協会)

- 8月21日(日)・28日(日)  
市制記念大会ダブルス個人戦(市体育館他)
- 9月25日・10月2日  
創立記念大会団体戦 ( " )
- 12月4日(日)・11日(日)  
秋季市民シングル個人戦 ( " )

## (卓球協会)

- 6月18・19日  
市制記念卓球大会高校男女の部  
一般の部 (市体育館)
- 11月6日(日)・12日(土)  
秋季市民大会中学・高校・一般 ( " )
- 3月11日(土)・12日(日)  
市長杯団体対抗兼団体選手権大会 ( " )

## (テニス協会)

- 10月15日(日)~  
秋季市民大会 (富士見・等々力コート)

## (軟式庭球協会)

- 7月 3日(日)  
市制記念大会一般の部(富士見コート)
- 8月8日(月)・9日(火)  
市制記念大会中学校の部 ( " )
- 10月16日(日)  
秋季市民大会中学校の部 ( " )
- 10月30日・11月13日(日)  
秋季市民大会 高校の部 ( " )  
一般の部

## (柔道協会)

- 10月30日(日)  
秋季市民柔道大会 (市体育館)

## (剣道連盟)

- 6月26日(日)  
市制記念剣道大会 (市体育館)
- 11月20日(日)  
秋季市民剣道大会 (松下体育館)

## (弓道連盟)

- 7月3日(日)  
市制記念弓道大会 (富士見弓道場)
- 10月16日(日)  
秋季市民弓道大会 ( " )

## (相撲連盟)

- 7月17日(日)  
市制記念相撲大会 (富士見相撲場)
- 10月10日(祝)  
市民スポーツ教室 ( " )  
秋季市民相撲大会

## (山岳協会)

- 6月23日~26日  
市民登山教室(学科) (中原市民館)
- 7月 3日(日)  
市民登山教室(実技) (金時山)
- 7月30日(土)~8月11日(月)  
市民アルプス登山 (西穂高岳)
- 10月1日(土)~2日(日)  
秋の市民ハイキング

## (水泳協会)

- 8月8日(月)  
14回学童泳力記録会 (等々力プール)

- 9月4日(日)  
市民水泳競技大会 (等々カプール)
- (スキー協会)  
1月12日(木)～16日(祝)  
市民スキー教室 (蔵王温泉スキー場)  
2月17日(金)～19日(日)  
市民スキー大会 (会津高杖スキー場)
- (スケート協会)  
3月22日(水)～3月30日(木)  
市長杯争奪ホッケー大会(神奈川スケート場)  
3月26日(日)  
市民スピード大会 ( " )
- (ラグビーフットボール協会)  
9月23日(祝)  
市民7人制大会 (等々カグラウンド他)  
10月16日(日)～12月18日(日)  
秋季市民大会社会人(市長杯) ( " )
- (サッカー協会)  
6月上旬～11月下旬  
秋季市民大会(リーグ戦) (上平間他)  
9月28日(水)～11月13日(日)  
少年松村杯争奪大会 (北見方他)  
1月上旬～3月上旬  
協会長杯大会 (古市場他)
- (体操協会)  
9月25日(日)  
秋季市民大会 (市体育館)
- (少林寺拳法協会)  
10月  
川崎市民大会 (川崎市体育館)
- (空手道連盟)  
11月13日(日)  
16回市民空手大会 (市体育館)
- (ハンドボール協会)  
6月19日(日)～7月3日(日)  
夏季大会兼市制記念大会 (市川崎高)  
8月22日(月)～24日(水)  
(多摩高)  
9月25日(日)～10月9日(日)  
秋季市民大会 一般の部 (未定)  
11月3日(祝)～27日(日)  
秋季市民大会 中学の部 (未定)  
2月5日～2月12日  
室内大会 (市川崎高体)
- (なぎなた連盟)  
5月8日(日)  
10回市民なぎなた大会(石川記念武道館)
- (ソフトボール協会)  
9月～10月  
市家庭婦人大会 (各所)  
9月～10月  
壮年区大会 (各所)  
11月  
実業団秋季大会 (東芝タンガロイ他)
- (合気道連盟)  
10月30日(日)  
市合気道大会
- (クレー射撃協会)  
8月21日(日)  
夏季・市長杯射撃選手権大会(県立伊勢原射撃場)
- (ボウリング協会)  
8月21日(日)  
市民選手権大会 (よみうりボウル)  
11月23日(祝)  
市長杯争奪選手権大会 (未定)

## ◆ 編集後記

◇長かった梅雨も明けて、ようやくの夏！  
毎夏の甲子園を観ては痛感する。基本と経験の重要性、そして「報告・連絡・相談」の大切さを…(皆川) ◇真夏の太陽のよ  
うにキラキラ輝く眩しい紙面にしたいもの  
と、三年目の委員、猛勉強中です。(中山)  
◇初の広報担当。初の表紙カラー化実現は  
嬉しいが、もっと予算が欲しい(左沢)

発行編集 昭和63年8月1日(20号)  
川崎市体育協会・同広報委員会  
〒210 川崎市川崎区宮本町6番地  
(川崎市教育委員会体育課内)  
電話(044)200-3312  
印刷 秋田印刷有限会社 766-5650